

マイズウ・メーノス（まあーまあー）の世界 ブラジル

ブラジルを訪問する人、ブラジルに関心のある人にお勧めする！！

梅津 久 記

第43話ートロンバジニョからピストル強盗まで

交差点で信号待ちしている車の運転手から時計、ノートブックや携帯電話を奪い取る、ピストルを突きつけてお金を奪う、まるで強盗である。歩いていると、後ろから、前から襲って来て、財布、貴重品を奪い去る。

私もサンパウロに住んでいた時に、エスターンティ街で夜、車を留めて、友人の後ろを歩き始めた時、後ろから肩を叩かれ振り向いたとたんに、前から来たもう一人の子供に力の抜けた腕に抱えていた財布入れを奪い取られた、逃げていく二人を必死で追いかけてながら「そっちの財布にはお金が入っていない、返したらこっちのポケットに入っているお金をやる！」と叫び続けた、相手は走りながら財布の中を確認してお金が入っていないのが分かったと、立ち止まって、お金と財布の交換となった、お金をやると財布を投げて、二人はミニョコンの高速道路に飛び降りて逃げていった、幸い、身分証明書などのドキュメントを無くさずに済んだ。妻も住んでいたアパートの近くのマジーニ街で二回もネックレスを剥ぎ取られている、太いネックレスでなかったので怪我をせずに済んだが、これが太く丈夫なネックレスなら首筋を切られて多量の血を流し、悪くすれば死亡ということにもなりかねない。

また、マナウスに住むようになって、マナウスからサンパウロに出張に来て、会社の同僚と夕食をとり、友人の車でリベルダーデ街を走っていて赤信号で停車した瞬間に、同僚がタバコを吸うために開けておいたわずかの隙間から、ピストル(のような物)を服の下から突き付けて同僚から現金だけを奪い取った、幸いだったのはその他の物を取られたり、車を奪われなかったことである。知人のなかには、買ったばかりの車で保険にもはならず、車のドキュメントを車の中に置いて家の前から盗まれたり、オートバイに追跡された強盗にノートパソコンを奪われたりしている。

本当に物騒でのんびり車に乗ったり、歩いたり出来ない。安全策としては、少し位暑くとも車の窓を開けて運転しない、交差点で止まる時は必ずギヤーを入れ、前との車との車間距離を取って何時でもスタート出来る様にする、また、深夜、交差点で赤

になっても徐行運転で車が来なかったら止まらないこと。さらにアパートや家のガレージに車を入れる時は一回入り口と通り過ぎて周囲に怪しい人がいないことを確認してガレージに入れる。街を歩く時は、あまり着飾らずネックレス、腕輪、ブロチなどの飾り物は取って歩き、目的地に着いたら、付けるようにすること、日本からきたばかりとわかるようか格好では歩かず、常に後ろを振り返り変な人が付けていないか様子を見ること。

この様な犯罪では、表に出て罪を犯すのは未成年であることが多い、ブラジルの法律では未成年(17歳まで)は罰則できないことになっており、現行犯で警察に捕まっても、すぐに釈放されるからです。裏の大人は捕まらない。

一次号第 44 話に続くー